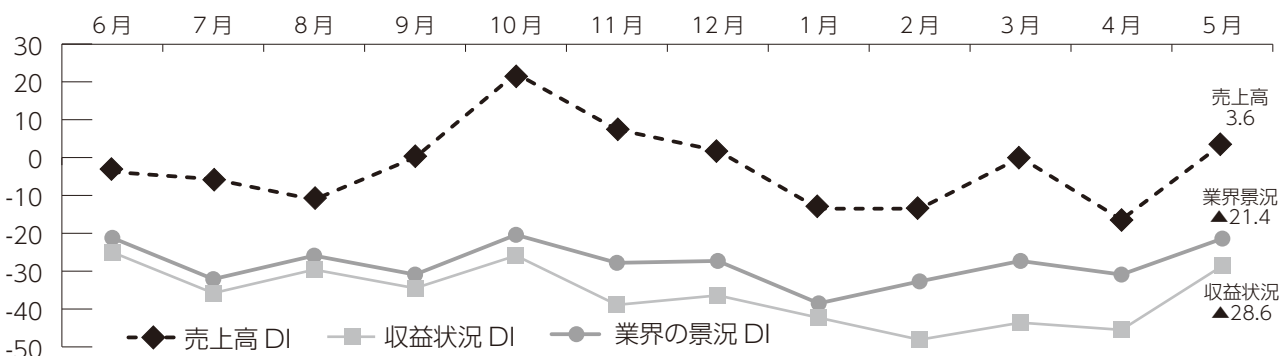


昨年12月以来、売上高DIがプラス域へ

概況

外出自粛要請のない大型連休もあり、業種によっては改善がみられ、昨年12月以来、5ヶ月ぶりに売上高DIがプラスに転じた。しかし、原材料・エネルギー価格の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト負担増、それに対する適正な価格転嫁、長時間労働の解消、人手不足等、課題は山積している。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☀	☀	☀	☁	☀	☁	☀	☁
	窯業・土石	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☀	☁	☁	☁	☀	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[パン] 電気料金が倍増しており、大きな問題となっている。</p> <p>[菓子] コロナ前のような大規模注文はないものの、店売りは好調で売上は増加した。</p> <p>[めん類] 包材費やエネルギーコストが増加する中、6月から小麦粉価格の更なる上昇が決定している。昨年に続く再びの価格転嫁は難航しており、厳しい状況。</p>
織 維 製 品	<p>[外衣・シャツ] 設備投資を行った組合員は売上が増加し、収益状況・景況感も好転。</p> <p>[織物] 今秋の繊維総合見本市「JFWジャパン・クリエーション」への出展申込みに向けた動きが活発化している。</p> <p>[インテリア関連] カーテン関連は、3月・4月が繁忙期となるが、荷動きが悪く、在庫数量が膨らんだ。5月になっても状況が変わらず、売上は減少。物価上昇による買い控えの影響と思われる。</p>
窯業・土石	<p>[生コンクリート] 公共工事が多くを占める西毛・吾妻・多野の山間地域で出荷量が大きく落ち込むも、出荷量の多い県央地域が上昇したため、全体の出荷量は前年同水準で推移。</p> <p>[碎石] 工事量が減少する中、電気料金的大幅上昇の影響によって、売上は減少し収益状況は悪化した。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 自動車関連については、半導体・部品不足の影響もあり、受注量は7月まで2割程度落ち込む見込み。価格転嫁が進まず、賃上げ実施は困難だが、人材確保のためせざるを得ない厳しい状況。</p> <p>[ダイカスト] 電気料金の上昇分の転嫁が認められ、業績向上に期待。</p> <p>[電機] 発電・鉄道・高速道路等のインフラに関連する需要はコロナ流行前に戻りつつあるが、人手や資材が不足しており工期が定まらない状況が続く。</p> <p>[半導体製造装置] 需要は高まるも部品不足が影響し生産体制が確立されず。</p>
そ の 他	<p>[紙製品] 主要原材料の段ボールのみならず、諸資材価格も上昇し、転嫁せざるを得ない状況。また、消費者の買い控えの影響もあってか、販売数量は落ち込む。</p> <p>[印刷] 資材の値上がりは落ち着くも、電気料金が上昇しており、この上昇分の転嫁が課題。また、人手不足の状況にあるも、人材確保は困難。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[衣服] 価格転嫁を行ったため、販売価格の上昇に伴い売上高も増加した。値上がり前の商品を多量に仕入れたため在庫数量が増加。</p> <p>[再生資源] 鉄くずは、月前半まで荷余り感が継続し、輸出価格も先行安となっていたため、相場は軟調に推移した。後半では、海外相場が下げ止まる中、円安もプラス材料となり、引き合いが増えている。</p>
小 売 業	<p>[家電] 防犯意識の高まりを受け、監視カメラの販売数量が増加している。</p> <p>[石油] 外出自粛要請のない大型連休で自家用車での移動が多かったため、売上は増加。6月から政府によるガソリン価格の急騰を抑える補助金の縮小が発表され、今後の影響を不安視。</p> <p>[生花] 生花店における一大イベントの「母の日」は、コロナの規制緩和もあり期待するも、天候不順の影響もあってか、思うような売上の伸びはみられなかった。</p>
商 店 街	<p>[前橋市] 5月は2週にわたりイベントを実施した。天候には恵まれなかったものの、まずまずの集客を得られた。イベントと同時に行った売り出しでは、既存店舗の売上以上に新規店舗の売上が好調で、昨年実績を上回った。</p> <p>[高崎市] 大型連休は多くの人出で賑わいがみられた。歓送迎会も実施され飲食店にも客足が戻るも、コロナ禍の習慣が残っているのか2次会は減少している。</p>
サービ 業	<p>[温泉旅館] 大型連休期間中は賑わいがみられるも、その後は振るわなかった。伊香保温泉では、外国人の入込が増えつつある。</p> <p>[美容] 来客数の増加と料金値上げに伴い、売上は増加した。原材料費や光熱費の上昇を受け、値上げをする店舗が増えてきている。</p>
建 設 業	<p>[建設] 企業の設備投資の意欲は改善されつつあるが、投資額の縮小や時期の後ろ倒しの傾向が顕著になっている。また、主に発注者向けの書類作成業務に追われ、時間外労働の上限規制を超える技術者がみられるなど、長時間労働の解消が課題となっている。</p> <p>[解体工事] 公共工事発注が始まり、学校の改修工事を受注。職人の人手不足が深刻な状況。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 運送量は低水準で推移し、燃料の高止まりが続く中、運賃への転嫁交渉は受注減少を懸念し思うように進まず、厳しい状況。大手企業を荷主とし、営業体制が整備された一部の事業者では、社内体制の改善を行い、「2024年問題」への対応を済ませている。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。